

Athletik Freund Back Number 総目次

Athletik Freund Back Number 総目次

創刊号 1929 (昭和4年)

標 題		執 筆 者
お便り	先 輩	吉 次 利 二
感想	"	岡 一 夫
私の競技生活についての断片的所感	"	垣 添 秋 三
真剣にやってくれ	"	萩 原 正 夫
在りし日の思い出 二つ三つ	"	橘 谷 晋
スポーツ徒然草	"	三 室 戸三光
便り	"	黒 川 潔
理解すること	本 科	富 士 豊
日記 抄	"	中 森 長太郎
自惚れを捨てよ	"	梅 田 敬 彦
西の覗き	"	中 森 長太郎
ウォーミングアップについて	"	川 本 信 正
おことわり	"	竹 内 紀 徳
立教戦を終えた日に	"	村 木 武 夫
我部に対する希望	専門部	日比野 慶 二
偶感	"	平 野 速 男
偶感	"	沼 田 梓
陸上競技における合宿練習について	予 科	尾 本 信 平
静岡における合宿の一日	"	原 田 恒 次
Olympic in Metropole (一幕二場)	"	田 中 忠 平
光を目指して	"	間 瀬 正

第2号 1930 (昭和5年)

運動競技精神と社会	部 長	高 瀬 荘太郎
-----------	-----	---------

研 究

陸上競技研究の栞

槍投のウォーミングアップについて

僕と走巾跳

ファイティングスピリット漫談

練習日記

川 本 信 正

中 森 長太郎

田 中 忠 平

中 森 長太郎

山 中 陽 一

随想及び創作

本年度を顧みて

競技部を正視して

憎まれ口

牙城を護る人々

憧れの団欒

競技生活を顧みて

漫話五題

感想

〃

緑色の感想

関西遠征日記の一節

過去を顧みて

陸上競技に関する走り書覚え書

断片的な漫筆

龍涎香

日独対戦を観ての漫画

村 木 武 夫

後 藤 文 雄

垣 添 秋 三

X Z 生

福 島 源一郎

原 田 恒 二

上 田 重 正

石 平一郎

山 下 藤 彦

間 瀬 正

M・K 生

尾 本 信 平

川 本 信 正

相 川 勇

O I J

田 中 忠 平

資 料

大阪商大戦評

神戸戦評

帝大経済学部戦について

最高記録

編輯後記

表紙

村 木 武 夫

中 森 長太郎

後 藤 文 雄

川 本 信 正 編

ま も る

忠 平

第3号 1930(昭和5年)

報告編

予科対東京高等戦	予科	金子珪亮
専門部対横浜高商戦	専門部	福島源一郎
立農商三巴戦報告及私評	本科	尾本信平
三商大戦(対神戸戦)を終へて	本科	村木武夫
三商大戦(対大阪戦)	本科	中森長太郎
関東インターカレッジトラック評	予科	上田重昌
関東インターカレッジ雑観	本科	後藤文雄
七月合宿中に於ける選手の体重表に就いて	本科	尾本信平
各競技会記録集		

随筆編

スポーツの宗教化	本科	原田恒二
愚かなる目にうつりしものは	専門部	普久志磨
感想二つ	予科	山中陽一
これからの予科	予科	石平一郎
バッタの戯言	予科	有馬祐壽
感激の余韻 —欧州遠征便り 織田さんの私信より—	本科	川本信正
"KYO GIBU" ON PARADE		ALL STAR CAST
編輯を終えて		田中忠平
—装幀—		田中忠平

第4号 1931(昭和6年)

全一橋陸上競技部部歌及び予科陸上競技部部歌		
巻頭言		尾本信平
一橋よさらば		
スポーツ記者は語る		川本信正
選手制度廃止について		福井長次

陸上競技漫語

一つの試み

千五百米レース研究

追憶三年月

震する小樽の町から

皆様馬鹿になって下さい

花魁門出諷

本科三羽鳥の面影

川柳ホンカセイ

陸上競技の科学的考察若干

本科から予科へ

ホイッスル欄

記録及び報告

第2回本科対東大経済学部戦

第3回関東学生継走選手権大会記

予科対水戸高校戦

専門部対浦高競技戦

専門部国立国分寺間マラソン

予科駅伝競走

第5回予科対東京高校戦戦績

第2回Y.C.A.C対全一橋戦

第3回本学本科対東大経済学部戦

第7回専門部対横高商戦

本年度競技会記録

編集後記

富士 豊

梅田 敬彦

福島 源一郎

平野 速男

村木 武夫

後藤 文雄

色黒山人

志津 隆美

鉛 暫山人

松本 博助 訳

尾本 信平

中森 長太郎

松本 博助

石平 一郎

井上 壮金

富岡 八十雄

有馬 祐壽

小宮 一彦

尾本 信平

中森 長太郎

三松 隆・富岡

間瀬 正

第5号 1932(昭和7年)

巻頭の辞

● 卒業生篇

尾本 信平

本科卒業三勇士論	中 森 長太郎
お詫び	相 川 勇
別辞	山 下 藤 彦
思い出の断片	井 上 壮 金
随想	富 岡 八十雄
直線は伸びて行く	青 木 次 郎
● 随筆篇	
全一橋陸上競技送別懇親旅行記	石 平一郎
新卒業生を懐う	尾 本 信 平
送別の辞	田 中 忠 平
運動生活或いは選手をしていたこと	保 宇 音 生
合宿日記	
戯曲「ラジオを廻る或る夜」	M. K 生
● ホイッスル欄	
● 記録及び報告	
全日本学生対抗陸上競技選手権大会	中 森 長太郎
第 8 回全一橋対神戸大戦	尾 本 信 平
専門部対成蹊高校戦	富 岡 八十雄
第 2 回予科 1 年対付属中学戦	山 中 陽 一
関東学生対抗陸上競技選手権大会	松 本 博 助
第 2 回専門部対浦和高校戦	井 上 此 金
専門部対福島高商戦	青 木 次 郎
予科対武蔵高校練習試合	有 馬 祐 壽
第 2 回予科対水戸高校戦	”
第 3 回全一橋対早大新人戦	大 川 宏 三
予科駅伝競走	小 林 主
各競技会記録	
競技日誌	
本年度スケジュール	

第 6 号 1932(昭和7年) 創立10周年記念号

巻頭の辞

石 平一郎

競技と芸術

高 瀬 教 授

● 十周年記念篇

思い出すまま

K. O 生

第2回神戸戦回顧

清 田 生

競技部の昔を偲ぶ

山 中 陽 一

第6・第7回感想

後 藤 文 雄

昭和7年度を顧みて

尾 本 信 平

東京神戸両大対抗競技記録表

● 伊豆山へ八人旅

SEN

● オリンピック所感

大 川 宏 三

● 随筆・感想篇

一橋陸上競技部に望む

中 森 長太郎

石神井の思い出

山 下 藤 彦

石炭山の向こうに

青 木 次 郎

スポーツと勝敗

尾 本 信 平

灰色的存在は許さるべきか

堀 岡 清

退却

山 中 陽 一

運動部懇談会について

金 原 一 郎

競技部更新対策としての一考察

山 中 陽 一

二つの競技会における優勝

鈴 木 正 男

予科陸上競技部に対する雑感希望

水 野 忠 夫

専門部競技部を背負って

福 田 敬 二

● 競技部オンパレード

第1回全国高等商業学校陸上競技大会報告

● 報告及記録篇

全日本学生競技会
 第3回 Y. C. A. C 対全一橋戦
 第4回本科対帝大経済学部戦
 対成蹊戦記
 予科対東京高校定期戦
 新人対府立2中戦の記
 関東継走大会
 第9回神戸商業大学定期戦
 関東学生大会記
 競技部日誌
 昭和7年全一橋陸上競技部決算報告
 一橋陸上競技倶楽部会計報告
 記録席
 ● POST
 編集後記

山 中 陽 一
 鷲 見 春 海
 上 田 重 昌
 三 松 隆
 外 川 武
 浜 田 歆 二
 山 中 陽 一
 金 子 圭 亮
 尾 本 信 平

第7号 1933(昭和8年)

雑感
 六年間の歪められた感想
 卒業の所感
 感想
 思い出
 私の競技に対する考え
 過ぎし競技生活を顧みて
 追懐
 感想
 ● 随筆・研究篇
 随感
 榎鋳さんを迎えるの日

尾 本 信 平
 田 中 忠 平
 原 田 恒 次
 高 梨 寿 夫
 八 木 哲 夫
 米 沢 義 史
 富 沢 享
 大 石 進
 尾 崎 好 三
 清 田 泰 一
 原 田 恒 次

新卒業生を懐う	上 田 重 昌
血色素とレコード	小 林 主
競技部を憶う	有 馬 祐 壽
与えられた道	長谷部 栄 一
過去一ヶ年の競技生活に対する回顧	梅 田 貞 吉
第2回全国高商大会を迎えて	上 田 重 昌
沼津春の合宿徒然の日記	
● ホイッスル欄	
O・B 競技熱盛ん	
部誌について	金 原 八 郎
感想	E・J・A
● 報告及記録篇	
対浦和高校戦	井 沢 春 雄
予科対水高戦	生 田 目 記
横浜高商戦	二 見 正
専門部対帝大農学部実科戦	井 沢 春 雄
一橋陸上競技倶楽部関西支部発会の夕	上 田 重 昌
第3回東京外語対専門部戦	吉 見 泰 二
第6回全日本学生陸上競技大会出場の記	橋 川 雄 一
対成蹊戦記	福 田 敬 二
専門部新人対府立2中戦	二 見 正
競技部創立10周年記念祝賀競技会	上 田 重 昌
競技部日誌	
全日本IC遠征決算報告	
昭和8年度全一橋陸上競技部実行予算	
" Schedule	
● 記録篇	
過去壱拾ヶ年間競技部壱拾傑	記 録 狂
POST	

第9号 北海道遠征記念号

● 巻頭言

● 卒業部員諸君を送る

高 瀬 荘太郎

● 北海道遠征篇

● 準備工作篇

全一橋夏季国立合宿日記

スプリントの練習法への感想

山 中 陽 一

北海道遠征を目指しての千五百米練習法

土 田 鎮 雄

今夏合宿におけるハードラーのスケジュールと

其の結果に就いて

小 宮 一 彦

私のスケジュール

橋 川 雄 一

● 遠征日程

今 泉 記

● 遠征の経過と雑感

山 中 陽 一

● 先輩の言葉

北海道遠征についての感想

村 木 武 夫

母校競技部を迎えて

根 橋 武 男

● 戦いの跡

対北海道帝国大学戦記

豊 田 計 助

対全小樽戦記

金 原 八 郎

● 蝦夷地の印象

札幌のスーヴニール

橋 川 金亀子

定山溪の思い出

生田目 輝 夫

小樽でのことども

今 泉 盛 雄

登別の温泉記

岡 本 市 郎

函館・浅虫の巻

小 宮 一 彦

● 思い思いに

遠征の思い出

金 原 八 郎

北海道征句日記	橋 川 金亀子
北海道遠征思い出断片	外 川 武
海を渡って	土 田 鎮 雄
スクラップ	今 泉 盛 雄
遠征の思い出	白 井 喜 正
北海道遠征の思い出	藤 井 彦 也
北海道遠征の断想	木 原 正 義
● 去り行く人の言葉	
思い出の歌	山 中 陽 一
去るものの言葉	有 馬 祐 壽
感想	新 谷 健 市
競技生活をかへりみて	小 林 主
競技部より得たもの	内 田 長 治
六ヶ年を回顧して	小 宮 一 彦
感想・断片	平 野 国 松
思い出のままに	井 沢 春 雄
● 卒業生月旦	
本科の巻	ほ ぼ か む り 生
専門部の巻	そ ら と ぼ け 生
● 足跡篇	
部員駅伝競走	鷲 見 春 海
専門部対成蹊高校戦	吉 見 泰 二
第7回関東学生継走新人陸上競技大会記	金 原 八 郎
予科対成城高校戦	横 溝 孝 之
対外語戦	井 沢 春 雄
予科対東高戦記	梅 田 貞 吉
本科対帝大経済学部定期戦	鷲 見 春 海
第11回神戸商大戦戦跡	小 宮 一 彦
第3回全国高商大会記	山 中 陽 一

関東学生陸上競技対抗選手権大会記

水高戦記

専門部対横浜高商戦記

三科対抗戦記

● ホイッスル欄

ホーンボステルの印象

ピッチング・ローリング

偶感

過去2年を顧みて予科更正を切望す

石神井のトラック

一寸感じたこと

本科送別旅行の記

実力の場合

● 昭和9年度十傑表

〃 標準記録及受賞者

本学最高記録表

競技部日誌

昭和10年度役員

編集後記

豊田 計 助

深川 登代仲

木原 正義

豊田 計 助

小林 主

市 丸

梅田 貞吉

立川 恵造

H. S

白井 喜正

N・R・A

豊田 計 助

外川 武

第10号 1935(昭和10年)

巻頭言

スポーツの道徳性

部長 高瀬 荘太郎

● 卒業生篇

● 去り行く人の言葉

感想

外川 武

卒業偶感

橋川 金龜子

無題

金原 八郎

卒業偶感

岡本市郎

卒業に際して	藤 井 彦 也
● 卒業月旦	忘 名 生
● 足跡篇	
● 対内の部	
三科対抗戦	横 溝 孝 之
部員駅伝競走(9年度)	金 原 八 郎
〃 (10年度)	大 森 隆
予科駅伝競走	元 木 一 雄
● 対外の部	
第17回関東インター・カレッジ記	編 者
関東学生継走大会記	金 原 八 郎
第12回神戸商大戦	神 谷 三 雄
第7回本科対帝大経済学部戦記	生田目 輝 夫
● 予科対抗戦	
対成城高校戦	立 川 恵 造
水戸高校戦記	深 川 登代仲
対東京高校戦	元 木 一 雄
● 専門部対抗戦	
対横浜高商戦記	藤 井 彦 也
外語戦記	田 内 重 一
対成蹊戦記	大 畑 哲 郎
対東京高農戦記	西 村 一 雄
全国高商大会記	水 野 忠 夫
● 随筆篇	
● 新主将の言葉	
部員諸子に	生田目全一橋主将
抱負	元木予科主将
本年度の抱負を語る	長尾専門部主将
● 新人月旦	

専門部2年生の巻

月旦子

予科新人に語る

橋畔子

● ホイッスル欄

競技場にて

橋川金亀子

八重ちゃんとエミちゃん

岡本市郎

偶感

生田目輝夫

昭和十年度十傑

本学最高記録表

昭和十年度日誌

水野忠夫

昭和十一年度役員

〃 全一橋スケジュール

土井誠

編集後記

第11号 昭和11年度

巻頭言

おことわり

卒業生の言葉

送られる身となりて

生田目輝夫

卒業

土井誠

所感

土田鎮雄

思い出となること

長谷部栄一

偶感

西村一雄

思い出すまま

長尾昌平

足跡を振り返りて

● 一丸となりて

第18回関東インターカレッジ記

折原勝正

第13回神戸商大戦

白井喜正

一橋対専修戦

梅田貞吉

● 予科単独にて

予科対東高戦	元 木 一 雄
予科対成城戦	粕 川 保 利
水戸遠征の記	島 啓
● 専門部単独にて	
横商戦記	長 尾 昌 平
専門部対外語戦記録	専 門 部
対大倉高商練習試合記	大 森 隆
第6回成蹊戦記	西 村 一 雄
専門部新人対府率二中戦	筒 井 誠
第1回専門部現役O・B対抗戦	坂 本 兆 広
● その他	
第5回全国高商大会記	生田目 輝 夫
予・専・高農三つ巴戦	小 谷 俊 武
三科対抗戦及水上氏杯争奪戦 随筆	
本科三年になりて	白 井 喜 正
所感	土 田 鎮 雄
部の使命	早 川 欽 次
高障碍を始めて	神 谷 三 雄
今泉君をしのぶ	生田目 輝 男
今泉のこと	土 田 鎮 雄
雑	
全国高商大会五周年記念式における高瀬先生のご挨拶	
水上達三氏杯規定並由来	生田目 輝 男
昭和11年度十傑表	生田目 輝 男, 神 谷 三 雄 補稿
編集後記	

第12号 昭和12年

巻頭言

卒業生篇

国立を去る

白 井 喜 正

無題

神 谷 三 雄

一卒業生のたわごと

横 溝 孝 之

思い出

横 田 好 夫

グラウンドを去って

坂 本 兆 広

足跡篇

第19回関東IC記

神 谷 三 雄

第14回神戸商大戦

立 川 恵 造

大阪商大戦

白 井 喜 正

対専修大学戦

元 木 一 雄

関東継走大会

木 原 正 義

第9回本科対帝大経済学部戦

外 村 善 一

予科対抗戦

対東高戦

宮 島 柱 二

対成城高校戦

臼 井 秀 吉

水戸を破る

橋 田 亮 二

専門部対抗戦

新人対府立二中戦

成 沢 毅 一

対横浜高商戦

横 田 好 夫

第7回成蹊高校戦

坂 元 兆 広

第5回東京外語戦

伊 東 文 雄

第2回予・専・高農三巴戦

竜 田 英 一

対内の部

三科対抗戦

江 渡 武太郎

部員対抗駅伝

木 原 正 義

随筆篇

● 新主将の抱負

思っていること

抱負

抱負を語る

立 川 恵 造

新 坂 建 也

熊 崎 喜久雄

● 笛先生のこと

笛先生退官に際して

第一歩を踏み出すまで

ホイッスル欄

深 川 登代仲

前 田 南

大阪戦の合宿について

白 井 喜 正

思い出の鉄槌投

立 川 恵 造

愚感断想

外 村 善 一

たわごと

デ タ ラ メ 生

マネジャー雑言

粕 川 保 利

新卒業生の近況

X Y Z 生

● 昭和12年度十傑表

元 木 一 雄

● 昭和12年度現部員五傑表(新しい試み)

木 原 正 義

● 予科五傑表

前 田 南

● 専門部五傑表

成 沢 毅 一

● 本学最高記録

● 昭和13年度役員

● 昭和13年度全一橋スケジュール

● 編集後記

第13号 昭和13年

巻頭言

非常時局下のスポーツ

部 長

高 瀬 莊太郎

一橋を巣立つ

一橋を巣立つ

立 川 恵 造

卒業雑記

外 村 善 一

懐かしの部室よさらば		深 川 登代仲
思い出づるまま		江 渡 武太郎
首途の抱負		
我々の使命		木 原 正 義
新主将としての抱負		三 隅 義 信
思いつくまま		江 村 忠 夫
主張と報告		
部と練習		臼 井 秀 吉
マネージメント・スタッフの事務分割問題		粕 川 保 利
水上先輩ご寄贈の図書について		宮 島 柱 二
冬季練習とその結果		中牟田 研 一
随想片々		
随想二篇	先 輩	富 岡 八十雄
若き日		江 渡 武太郎
予科よ強かれ		前 田 南
本年度大会出場の感想		立 川 恵 造
戦地通信		
本科生プロフィール		ブレイントラスト篇
戦記		
● 第20回関東IC		粕 川 保 利
三商大戦予選会		宮 島 柱 二
復活第1回三商大戦		木 原 正 義
● 第10回学部対東京帝大経済学部戦		深 川 登代仲
● 第12回予科対東京高校戦		中牟田 研 一
第5回予科対成城高校戦		前 田 南
第9回予科対水戸高校戦		神 谷 憲
第3回予科・専門部・高農三巴戦		三 隅 義 信
● 第13回専門部対横浜高商戦		伊 藤 文 雄
第8回専門部対成蹊高校戦		成 沢 毅 一

- 第2回専門部OB戦
- 第6回専門部対東京外語戦
- 三科対抗戦
- 第7回全国高商大会観戦記
- 記録
- 昭和13年度三傑表
- 本学十傑表
- 本学最高記録表
- 予科・専門部五傑表
- 昭和14年度役員
- 編集後記

江 村 忠 夫
後 藤 修次郎
元 木 一 雄
臼 井・小 谷

小 谷 俊 武

第14号

巻頭言

部よさらば

卒業に臨んで

国立を去る

木 原 正 義
元 木 一 雄

首途の抱負

鍛練の道場

感想

新年度を迎えて

臼 井 秀 吉
笠 野 昌 規
杉 村 壮一郎

論説と報告

「競技部今後の問題」についての私見

14年度冬季練習

中牟田 研 一
宮 島 柱 二

徒然

我らが仲間

昼・井・謎

粕 川 保 利
行 田 純

戦地だより

戦記

- 大会の部 関東インターカレッジ
 - 第2回三商大戦
 - 全国高商大会トラック評
 - 高商大会フィールド観戦記
 - 関東学生継走大会(日記帳より)
- 本科の部
 - 第11回対帝大経済学部戦記
 - 対慈恵医科大学部対抗戦
- 予科の部
 - 東高戦記
 - 第10回水戸高校戦
 - 第6回成城高校戦
- 専門部の部
 - 第9回成蹊高校戦
 - 第14回専門部横浜高商戦
 - 第3回専門部OB戦
 - 第7回東京外語戦
 - 第4回予科専門部高農三巴戦
- 対内の部
 - 三商大戦予選会
 - 三科対抗戦
 - 部員駅伝競走
- 記録
 - 昭和14年度三傑表
 - 本学十傑表
 - 本学最高記録
 - 予科五傑表
 - 専門部五傑表
- 昭和15年度役員

新 坂 建 也
 臼 井 秀 吉
 前 田 南
 小 谷 俊 武

中牟田 研 一
 宮 島 柱 二

数 原 年 郎
 杉 村 壮一郎
 中 山 実

庵 原 信 蔵
 菅 原 宣 夫
 笠 野 昌 規
 後 藤 脩次郎
 宮 崎 武 雄

斎 藤 定 雄
 松 島 英 夫
 宮 島 柱 二

松 島 英 夫
 編 者

”

”

”

”

編集後記

第15号 昭和15年

巻頭言

国家的競技精神の昂揚

高瀬 莊太郎

激励の詞

久内 武

● 部よさらば

六年間

臼井 秀吉

部よさらば

小谷 俊武

思い浮かべた事ども

粕川 保利

感想

笠野 昌規

三ヶ年の思い出

菅原 宣夫

懐かしき部室を去るに当たりて

中島 晃策

● 首途に当たって

所感

新坂 建也

スポーツ往来

高橋 文雄

所感

木下 和蔵

● 練習の回顧と抱負

対三商大戦練習記

臼井 秀吉

来年度の練習方法

新坂 数原

走幅跳を始めてから

新坂 建也

● 戦地たより

● 戦記

● 大会の部

全日本インターカレッジ観戦記

松島 英夫

関東インターカレッジ観戦記トラックの部

斉藤 定雄

〃 フィールドの部

小谷 俊武

第3回三商大戦記

新坂 建也

第9回全国高商陸上競技大会トラック評

黒住 忠行

- | | |
|---------------------|--------|
| 第9回全国高商陸上競技大会フィールド評 | 永田 博 |
| ● 一橋の部 | |
| 第3回商大対専大対抗戦 | 神谷 憲 |
| 第1回東京帝大戦 | 前田 南 |
| 明治神宮大会東京府予選記 | 中牟田 研一 |
| ● 予科の部 | |
| 第14回対東京高校戦記 | 香川 俊雄 |
| 第11回対水戸高校戦記 | 高橋 文雄 |
| ● 専門部の部 | |
| 第15回対横商戦記 | 浜田 利夫 |
| 第9回成蹊高校戦 | 宮川 哉夫 |
| 第8回対東京外語戦 | 木下 和蔵 |
| 復活第1回対高農戦 | 阿部 猪一郎 |
| ● 対内の部 | |
| 部員駅伝競走 | 神谷 憲 |
| 水上氏杯レース | 数原 年郎 |
| ● 記録 | |
| 昭和15年度三傑表 | 三隅 義信 |
| 本学最高記録 | |
| 本学十傑表 | |
| ● 日記昭和15年度日記抄 | |
| ● 昭和16年度役員 | |

第16号 昭和16年

- | | |
|----------|--------|
| ● 巻頭言 | |
| ● 部に贈る言葉 | 中山 伊知郎 |
| ● 勝利者に贈る | 相馬 勝夫 |
| ● 部よさらば | |
| 懐古 | 新坂 建也 |

三稜鏡	前 田 南
思い出を遺して部室を去る	松 島 英 夫
私の競技部生活より	斉 藤 定 雄
競技における戦闘と美について	柴 沼 富 雄
なつかしき回想	木 下 和 蔵
山の彼方へなほ遠く	中牟田 研 一
● 練習旗について	香 川 俊 雄
● 来年度を目指して	
所感	三 隅 義 信
陸上競技班生活所感	西 岡 宏
所感	阿 部 猪一郎
● 輝く制覇	
関東I・C・観戦記 トラックの部	中牟田 研 一
〃 フィールドの部	数 原 年 郎
● 第4回三商大戦記	三 隅 義 信
● 関東I・C・二部制覇及び三商大戦再制覇	新 坂 建 也
● 一人一言	神 谷 憲
寸言	永 田 博
愚感	岡 田 康
一人一言	浦 辻 三 郎
競技と俳句	桜 井 博
所感	渡 辺 利 男
	木 本 正 樹
偶感	香 川 俊 雄
● お便り集	
● 戦記	
● 一橋の部	
第1回関東学生新人戦記	伊庭野 健 治
東京学生選手権大会出場の記	黒 住 忠 行

関東学生新人大会感想

高 橋 文 雄

● 予科の部

府立二中对商予専新人戦記

木 本 正 樹

対東高戦記

向 田 秀 実

対成城戦記

加 藤 潔

第12回対水戸高校戦記

西 岡 宏

● 専門部の部

第10回成蹊高校戦

長谷部 豊 彦

第16回横浜高商戦

見 崎 武

復活第2回対高農戦

藤 波 嘉 孝

第9回対東京外語戦

田 中 康 人

● 部内の部

部員駅伝

記録

● 本年度三傑表

● 本学最高記録

● 本学十傑表

● 予科五傑表

● 専門部五傑表

日記帳より

昭和17年度役員

タッチゾーン

復刊第一号 昭和25年

巻頭言

一橋アスリート 一橋陸上競技部部长

山 中 篤太郎

復刊の辞

復刊にあたって 一橋陸上競技倶楽部幹事長

水 上 達 三

所感

主 将

米内山 拓 也

コーチャーとして	一橋大学体育教官		堀 内 政 三
所感	昭和22年度	主 将	岩 田 正 雄
随想	昭和23年度	主 将	星 野 惣 次

部員の言葉

一橋陸上競技部に入部して	学 一	千 葉 金 助
スポーツ寸言	学 一	富 田 和 孝
思い出す俚に	新 一	阿 部 湘一郎
私と競技部	学 二	秋 山 之 保
部員の横顔		A & A

部の経過

昭和18年～24年度の経過 25年卒		高 橋 保
昭和24年度部活動概要	学 三	米内山 拓 也
現状の陸上競技部	学 三	山 本 省 吾

足跡

関東選手権大会	新 二	渋谷 鋭 市
関東 I・C	学 二	青 木 豊 昌
全日本 I・C	学 三	米内山 拓 也
第1回対神戸大学遠征記	学 三	山 本 省 吾

記録

本学最高
戦後最高
各記録
部員名
編集後記

昭和32年

所感	32年度主将	松 永 宣 夫
主将一年間の思い出	32年度卒業生	野 島 明 治
云って置きたいこと	32年度卒業生	春日井 弘

仏像と合宿	32年度会計	黒川 亮
卒業に際して	32年度卒業生	山田 準一郎
勝ってくれ	32年度卒業生	竹田 英俊
部歌	32年度卒業生	藤井 喜康
競技部生活雑感	32年度卒業生	水島 充郎
一年生雑感	法学部2年生	榎本 淑男
偶像建立と破壊	商学部3年生	角 孝文
春季合宿経過報告	32年度主務	奥村 誠司

記録編

本学最高記録

過去3ヶ年旧三商大戦戦績

関東インターカレッジ

東京大学 対 一橋大学対抗戦

東京外国語大学 対 一橋大学対抗戦

東京経済大学, 埼玉大学, 一橋大学対抗戦

東京地区国公立大学対抗

武蔵野十哩ロードレース

昭和32年度スケジュール

部員名簿

編集後記

